

みかい

安住院便り
(第42号)

平成31年1月1日発行

〒703-8236

岡山市中区国富3丁目1-29

住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

寺院参拝とご朱印

全国各地の寺院にお参りする目的の一つに、朱印帳にご朱印を頂くことがあります。四国八十八ヶ所弘法大師霊場巡りや、西国三十三観音霊場巡りなど、札所を順番にお参りする方も多くいます。当院も、瀬戸内三十三観音霊場の第十二番札所として、朱印をしています。



ご存じのように、御本尊の朱印だけではなく、黒墨でご本尊名を書きます。各地の寺院で特色のあるご朱印がブームとなり、それを目的に参拝されている若い方々も多くいます。目的は、どうあれ、寺院に興味をもって頂けることは、とても有り難いことで、そこから少しでも宗教への関心に繋がればと思います。本来、朱印帳・朱印軸は、般若心経等のお経を写経したものを各寺院に奉納し、その証明として頂いたもので、納経帳とも呼ばれています。札所で統一された納経帳や、特色のある朱印帳もあり、それを探すのが楽しみだと言われる方もいます。

昔からの言い伝えですが、死後の世界で裁かれる時、札所巡りは仏教の信者としての証明になり、成仏の手助けになると信じられていました。そこで葬儀の時、故人にお寺巡りをした白衣を着せて、納経帳をお棺に入れ、霊前に納経軸を掛けて送りました。これからも、大切な風習として残しておきたいものの一つと考えます。

当院でも、春と秋の団参で、余り遠くへは行けません。が、なるべく由緒のある寺院を巡るような心がけています。まだまだ、知られていない古刹は多くあります。団参では、時間も限られますので、もし気に入れば、何度でもお参りして、様々なものを発見してください。それが、ご縁というものになります。その時は、朱印帳を持って行くことも、是非忘れないで下さい。成仏の手助けになるだけでなく、後から思い出す時に役に立ちます。

また、檀那寺である安住院へも、お知り合いの方とお参り下さり、ご縁を結んで頂ければ幸いです。住職が居る時には、詳しく境内の説明させて頂くことも可能ですので、気軽に声を掛けて下さい。

合掌

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法会のご案内

来る一月十七日（木曜）

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈禱並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、ご参詣下さい。また、特別祈禱も申し受けますので、三日前までにご連絡下さい。

（報恩大師信仰展）

昨年秋、岡山県立博物館で、（報恩大師信仰寺院縁起）と題した展覧会が開催されました。当院からも、平安時代の毘沙門天立像を始め、安住院縁起等、多数出展しましたが、その中の「禅光寺仁王堂造立奉加帳」は、当院仁王門建立のために協力して頂いた方々が、僧俗含め八百名以上列記されてる貴重な什物です。機会をみて、是非皆さんに紹介したいものです。

【副住職・長男（一歳八ヶ月）】



安住院（ホームページ）

この度、安住院のホームページが新しくなりました。当然ですが、スマートフォンにも対応しています。

なるべく、当院の雰囲気も味わって頂けるよう、写真も多く、ドローンで上空より撮影したのものあり、納得していただけるものと、確信しています。

また境内の文化財等の紹介もあります。実際に見てみたいと思われる方が、増えることを願っています。

是非、ホームページを見て、ご意見等をお知らせ下さるよう、お願い致します。

京都・大覚寺参拝

昨年秋、十一月七日に京都の真言宗大本山大覚寺にお参りしました。紅葉にはまだ少し早かったのですが、清々しい秋晴れの中での団参になりました。

昨年は干支が戌戌に当たり六十年に一度、嵯峨天皇宸翰の般若心経を見ることが出来る貴重な年でした。その嵯峨天皇ゆかりの大覚寺での法会に合わせたの参拝で、各天皇の浄書された心経の展示もあり、現在の寺院への写経奉納の原点になったもので、心静かに拝観いたしました。

太秦の広隆寺では、教科書等で見る、国宝第一号として有名な弥勒菩薩半跏思惟像や、文化財の仏像の数々を拝観しました。

また、当院の明治時代の住職で勧修寺門跡になられた和田大円猊下の最後の寺院で、京都の三弘法としても有名な、賀茂の神光院でも、お勤めを

致しました。京都にも、観光化されていない、古刹が多くあり、是非またゆつくりお参りしたいものです。次回の予定は、四月十日です。

